

「宇宿小学校の宇宿稲すり踊り伝承活動の取組」

1 学校名 奄美市立宇宿小学校

2 学年・人数

1年生（6人） 2年生（4人） 3年生（7人） 4年生（7人）
5年生（4人） 6年生（5人）

計33人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

平成31年4月～令和元年11月 朝の活動，創意，総合的な学習の時間
本校屋内運動場・屋外運動場，多目的ホール

(2) 発表の日時・場所

令和元年9月29日（日） 創立140周年記念秋季運動会（本校屋外運動場）
令和元年11月9日（土） 創立140周年記念セレモニー（本校屋内運動場）
令和元年11月13日（水） 市小・中学校音楽発表会（笠利農村改善センター）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

うしゅくいね おど
宇宿 稲すり踊り

(2) 由来

明治時代から校区で踊られていた伝統芸能で，戦後，「宇宿稲すり踊り保存会」の方々が継承・保存に取り組んできた。現在は，奄美市指定無形民族文化財，また奄美市認定一集落一ブランド（宇宿集落）にもなっている。

本校では，平成5年から「宇宿稲すり踊り」に取り組んできた。「宇宿稲すり踊り保存会」の方々に協力をいただきながら，子どもたちだけでの発表向けにアレンジをした踊りの練習を続けてきている。

(3) 構成等

「宇宿稲すり踊り」は，島唄である「稲すり節」，三味線や太鼓・指笛等の鳴り物，踊りの3つのグループで構成されている。島唄や鳴り物の軽快なリズムに合わせて踊る。「宇宿稲すり踊り」には，人々の豊作や健康，幸せへの願いが込められている。

5 保存会や地域との連携の具体

「宇宿稲すり踊り」の練習期間中に，「宇宿稲すり踊り保存会」の方を招いて，島唄・鳴り物・踊りの様子を見ていただき，全体で注意しなければならない点を聞いたり，個別指導をしていただいたりしている。特に，三味線の指導については，上達するまでに時間を要するので，夏休み期間を利用して，指導者宅を訪問して指導を受けることもある。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

子どもたちに、秋季運動会や市小・中学校音楽発表会等の行事での発表を意識させたり、「宇宿稲すり踊り保存会」の方々に「宇宿稲すり踊り」を伝承している思いなどを語っていただいたことで、練習への意欲が高まり、島唄や三味線、踊り等の上達へとつながった。また、保護者や地域の方々に練習の成果を参観していただき、子どもたちに称賛の声を掛けていただいたことで、子どもたちの「宇宿稲すり踊り」を踊ることに對する達成感や自己有用感をもたせることができた。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【保存会の方による太鼓の指導】



【保存会の方による三味線の指導】



【創立140周年記念秋季運動会での発表】



【創立140周年記念セレモニーでの発表】

8 参加児童生徒・保存会・地域の方・教職員等の感想・意見

- 文化財継承の取組として、これからも学校現場における「宇宿稲すり踊り」の支援に励んでいきたい。（保存会）
- 子どもたちがいっしょうけんめい踊っている姿を見ると嬉しくなる。（地域の方）
- 子どもが「宇宿稲すり踊りを通して、宇宿（郷土）のことを誇りに思ってもらいたい」という思いで、いっしょに楽しみながら練習をした。（教職員）
- 最初はうまく踊れなかったけれど、踊れるようになって嬉しかった。（1年）
- 踊りを通して、昔の人がお米を大事にしていたことがよく分かった。（2年）
- 地域の人がたくさん見に来てくれて嬉しかった。（3年）
- 創立140周年だったので、がんばって練習していい発表ができた。（4年）
- 今年からパートのリーダーとなったので不安だったけど、しっかりできて嬉しかった。来年は6年生として、全体を引っ張っていきたい。（5年）
- 心に残る発表ができてリーダーとしての責任を果たすことができた。後輩には、これからはしっかりと稲すり踊りを引き継いでほしい。（6年）